

令和3年度 西砂学習館運営協議会（令和4年1月）会議録

日 時：令和4年1月13日（木）午後6時00分～午後8時10分

出 席：大橋 加藤 広瀬 浅見 小笠原 長谷川 岩元 森 増田

事務局：石川 平井 俣本

欠 席：小林

1 開会のあいさつ

大橋：新型コロナ・オミクロン株が急激に増えてきた。残りの講座ができるか心配。細かい要請もあると思うが様子を見ながらできる範囲でやりたい。

石川：資料の確認。地域学校コーディネーターとの情報・意見交換会の日程は3月16日に決まった。

2 令和3年度地域活性化講座について

(1) 「にしすな夜間塾〈第6弾〉」について

- ・日程について
- ・講座の内容について
- ・講師について
- ・会場について

石川：前回の会議では、読み聞かせの案が出ていたが、具体的な内容まで進まなかった。小

笠原：実施日時は休みの前日の夜が原則。児童館での開催は現在3月4日が可能。

岩元：前回の会議でお話した知人に確認した。本人はやりたい希望はあるが、子どもに読み聞かせをしていたというだけで、親向けの講座はしたことがないとのことだった。

大橋：講師の候補として、西砂学習館で読み聞かせをしている「たんぼぼ読書会」の六車さんに連絡をしてみた。内容は、前半は親子で読み聞かせをし、後半は親と子が分かれてお話しをする。山田さんという方も当日は来てくれるとのこと。子どもを育てている今の時期がすごく大切。親が本に親しんでいる姿を子どもに見せられたら良い。

石川：講師謝礼については2人合わせて1名分の謝礼しかお出しができない。特に何もなければ六車さんと山田さんを講師にお願いして進めたい。

大橋：大人だけの話しの時は、子どもを1階に移動することは可能か。

小笠原：可能。講座の時間やメインの年齢層はどうするか。高学年を持つ保護者がどれだけ興味を持ってくれるか。小学校でも読み聞かせはしている。

大橋：例年だと、就学前から小学生の保護者の参加が多い。

広瀬：毎回人集めで苦勞をしている。今回最低10組は参加者を集めたい。その活動が我々の活動、地域への啓蒙に繋がる。新しい住宅を中心にチラシを入れてPRしたい。

3 協議、報告及び連絡事項

(1) 前回の議事内容の確認（議事録）

大橋：何かあれば事務局へ。

(2) 令和3年度第3回西砂川地区地域学校コーディネーター及び西砂学習館地域運営協議会委員の情報・意見交換会

- ・日程について 3月16日（水） 18:00～20:00
（荒井様・松澤様・渡辺様・平山様より頂いた日程で唯一）
- ・議題について 「地域」と「学習館」のフィールドで出来そうなことを
ピックアップして、グループ討議して具体化を進める。

石川：委員の出欠は次回の会議で確認する。地域か学習館のフィールドで出来る可能な提案をピックアップし、グループで討議して、1つでも実現できたらと思う。

大橋：情報・意見交換会の開催について。現状は地域学校コーディネーターと委員の参加可能な日時を調整して開催をしているが、今後は地域学校コーディネーターの都合がつけばこの会議に参加して頂き、日常的な会話をしていけたらと思う。地域学校コーディネーターの活動として参加して頂きたい。これについて3月16日に提案したいと思っている。

石川：学社一体を1番に進めているのは西砂学習館。2番は幸学習館。幸学習館の方針はあまり委員や地域学校コーディネーターに負担をかけない方法。岡部センター長はこの幸学習館の方針を推奨したいとのこと。皆の負担がなるべくなく、かつ効果が上がる方法を考えている。地域学校コーディネーターに積極的に負荷を与えないでほしいとのこと。一番苦勞すべきは学習館職員で、何かあれば学習館職員に話して、学習館職員がコーディネートするようにとのことだった。

大橋：幸学習館の方針がよくわからないが、係長にコーディネーター役をしてもらうということで、委員は動かない方が良いのか。

加藤：企画運営委員会で地運協に地域学校コーディネーターが入った方が良いのではと話しをしたが、センター長は地域学校コーディネーターが地運協の委員になることについて、あまり負担をかけてはいけないと声が出ていると話していた。

広瀬：その会議で、企画運営委員の1人が「そこまで負担がかかるのはたまらない」と発言していたのも、1つのきっかけかもしれない。

加藤：希望する方がいたら、公募市民枠の参加方法もある。

大橋：生涯学習推進審議会答申を読んだからこそ、このようなことを進めている。何もなくて話しているのではなく答申に書かれているから推進していかなければならない。

岩元：生涯学習推進審議会でも職員がコーディネーター役をすると話していた。答申に書かれていることを実現しようとするならそれではいけないと感じたが、1つ1つ階段を上がっていくという意味で、年に3回の情報・意見交換会で少しずつ浸透させるの

が現実的かと思った。

加藤：地域学校コーディネーターに打診して、地運協のメンバーになって月に1回の情報・意見交換会はどうか聞き、公募市民枠の提案をしても良い。

岩元：3月の議題は、地域学校コーディネーターとして、どんな活動をしていたかの報告をして頂きたい。毎月この会議に来る必要がない部分もあるかと思う。学期ごとに予定を聞くだけでも大きな前進になる。ゆくゆくは毎月の会議へ自然に参加するようになっていけば良い。

広瀬：学社一体の問題について。立川は遅れている。武蔵野、小平が進んでいるので、係長に調べて頂きたい。

大槇：地域学校コーディネーターの制度は何年も経っているのに、地域学校コーディネーターがコーディネートをするのではなく、行事のお手伝いの依頼だから問題なのではと思っている。

加藤：地域学校コーディネーター全体の会合を開催し始めたのが去年頃から。

大槇：地域学校コーディネーターと顔つなぎが出来る関係を作りたいだけ。もし何か力を貸して欲しい時、話しやすい関係が大事。

加藤：西砂の地運協は社会福祉協議会、児童館、青少健、文化会などが入っている。その中に地域学校コーディネーターがいて、このメンバーとしているのに意味がある。

岩元：今回の議題も3月なので次の年度に向けて抱えている課題の共有でも良い。

大槇：現状地域活性化講座として私達だけが講座を企画している。地域学校コーディネーターは子育て世代。子育て世代目線で講座が企画されると良い。

石川：推測になるが、学校は依頼したことのお手伝いをしてくれるだけで感謝しているので、新たなお願いをしてきていないのではと思う。

広瀬：多少、強引なところもないと動き出さない。最初にやるところが一番大変。

岩元：地域学校コーディネーターをお願いする時に、市側の説明の中にしっかり役割の説明をして受けて頂くことが大前提と思う。大前提を市がやっていないということを認識して改善しないといけない。現場で変えていくこともあるが、忘れてはいけないところ。

大槇：地運協の活動を分かって頂くと、別のアイデアも生まれるかもしれない。

石川：地運協の活動はこの地運協が一番盛ん。けん引役的に進めたい。

森：前回の地域学校コーディネーターとの意見・情報交換会では挨拶して立ち話して、それだけでもお互いにとってプラスになった。委員と地域学校コーディネーターのお互いの存在を分かっただけでも開催した意義の1つと思う。前回の会議だと、熱い思いでやり過ぎて、あれをイメージすると次に来る負担が出てくるかと思う。何も発言しなくても良いから、お互いを知るだけでも信頼関係が生まれればそれだけで良いメリットになる。学習館の交流会でも意見は出ると思う。少しずつ進めるために、もう一度確認し合うのが大事だと思う。焦らずにゆっくり顔見知りになることは良いこと。

(3) 西砂学習館まつりについて

- ・今まで参加されている団体の参加申込は1月7日が期限
⇒ 1/7 現在の参加予定団体数28団体（全団体）
- ・新規の参加希望は1団体（マンドリン演奏の団体）
- ・前回開催との変更点（案）
⇒ アトラクションは1週早く実施し、発表会のタイムスケジュールに
余裕を持たせる
- ・日程案
⇒ 第42回西砂学習館まつりスケジュール（案）を参照

石川：28 団体が参加となった。新規にマンドリンサークルの参加申し込みがあった。現状では発表枠が一杯なので、「プレ祭」として1週間早く土日のどちらかでアトラクションを行い、空いたアトラクションの枠を活用する。実行委員会で提案する。実行委員長は和太鼓「市の一」の山田さん。アトラクションは山田さんの知人のフルート奏者を予定。アトラクションで学習館まつりの宣伝をして来館者増に繋げたい。プレ祭でも横断幕やのぼり旗を飾りたい。

大橋：地運協としての参加の仕方はどのような形か。

石川：地運協はパネルを飾る形にしたいと思っている。部屋は第二実習室。生け花サークルと同じ部屋なので寒い部屋になる。

大橋：当日は指定された部屋に掲示物を持っていく。事前にOK ができれば「プレ祭」の時から展示する。

(4) 「西一元氣通信」第4号について

石川：各自治会、小中学校等に配布する。一面はクリスマスコンサートのシーン。コントラバス奏者が地元の方。

大橋：西一元氣通信は事後報告ではなく、参加できなかった人が次回は参加したいと思わせる通信。ただの報告だとつまらないものになると思っている。

(5) 地域学習館運営協議会交流会について

- ・日 時 令和4年2月19日（土）午後1時
- ・会 場 市役所302会議室
- ・内容案 生涯学習推進審議会では海野生涯学習係長が講演をした
「地域学校協働本部事業」についてを15分定度説明した後、
複数のグループに分け、学社一体関係の議題について意見交換し発表
【前回の協議会で出た意見】
・学習館にはこのようなことが期待されている。

- ・各学習館はどのように地域とつながっているか
- ・掲示物 各学習館の活動を掲示する

大橋：流れは海野係長の説明を聞き、グループで意見交換をし、発表する形になっている。

広瀬：西砂運営協議会と地域学校コーディネーターの関係、行った事を簡単にまとめてもらい、皆に共有したい。

大橋：細かい内容は事務局と決めたい。グループでの意見交換では話しながら書記が模造紙に書き、発表する流れ。掲示物もあるが、それについて発表はしない。各運営協議会の活動を少しでも見てもらえたら良い。西砂運営協議会はサマーイベントをまとめたものがあるので掲示する。

広瀬：他に実施したことを時系列的に、日程、タイトル、講師は掲示したい。

石川：西一元気通信がある。

大橋：文字くらいであれば出来ないことはない。

広瀬：資料1 事業予定だけでも良い。

(6) フリースペースについて (報告)

大橋：実施できていない状況。

(7) 各委員から報告及び連絡事項 (報告)

加藤：コロナが爆発的に増えた。「クラシック入門講座」、「犬との楽しい暮らし方」は2月に延期したがどうなるか心配。「パソコン講座」も西砂学習館で予定しているので、うまくやっていたらと思う。

広瀬：他のボランティア団体のミーティングに参加。老々介護について、妻が夫を介護するのはそれほどでもないが、夫が妻の介護は悲鳴が強く出ているように感じる。介護サービスを上手く使い、週に何日かでも自由になる時間があると、充実してくる傾向が強い。老々介護の大変さを感じる。

浅見：オミクロン株が増えて、直近の会議が延期や中止になっている。動向を注視して、2月、3月とイベントが続くが、地域と協力して乗り越えていきたい。

年末に子ども向けの行事を実施。松中小と西砂小の子どもが入り混じって宿題をする会。その中の子どもの会話で「中学校で一緒になるんだね。」という声を聞いた。この場所が学校を超えた交流の場所になっているのだと会を通じて感じた。

大橋：包括の訪問はコロナ禍でどのような状況になっているか。

浅見：介護保険利用者はご本人の状態確認の為に定期的に訪問する必要があるので、事前に電話をし、短時間にはなるが訪問はしている。

長谷川：賀詞交歓会が中止になった。連絡が出来ずに申し訳ありませんでした。青少健では12月末にパトロールや掲示板の修理を行った。研修会は未定の状態。松中小の放課後子ども教室は4月1日から毎日の開催になると思う。

大橋：放課後子ども教室は夏休みを含めて毎日の開催になる。サマーイベントについて、夏休みは、松中小に居場所があるという状況で企画ができる。

長谷川：登録をしても参加は自由。カードをスキャンすると親に連絡がくるようになっている。ボランティアは今まで通り木曜日と金曜日は地域参加と言うことで残る。

岩元：放課後子ども教室は地域で子ども達を育む一環として始まり、拡大されている。目指している学社一体に広い意味である。

文化会では30日のうどん作りは中止。コーラス槐は、個人的には今月はお休みにしたほうが良いと思うが、開催の予定。先日3回目のコロナウィルスワクチン接種券が届いた。

森：パソコン倶楽部では、市外の方の申し込みがあった。嬉しいことだが年齢層が高い。近くに寄って教えることもあるので心配。参加者には体調には気をつけてくださいとお話はした。2月はエクセル講座、3月はパワーポイント講座を予定。これ以上感染拡大がないように祈っている。

増田：災害時の用水確保の為に井戸を掘る陳情は継続審議になった。12月5日の学習会は実施した。議会以外の活動について話し合いができた。1月23日は違う議員3名と同じように学習会を予定。議会、行政、市民が1つの目標に対して、効果的に解決に向けて仕組み作りを今の体制でできないか、進められないかをやっているところ。

俣本：本日西砂寿教室の新年のつどいがあった。57名の会員で51名が申し込み、51名全員が参加。皆さん元気に来てくれた。

平井：1月18日に生涯学習推進センターの研修に参加する。講師は高松学習館の石井係長。2月9日学習館まつり実行委員会を予定。コロナ禍だが学習館としてサポートしていきたい。

石川：3月7日西砂学習館、図書館、連絡所、子育てひろばの合同防災訓練を予定。1月4日に発熱。PCRをしたところ陰性。病院に行きすぐに治った。

小笠原：12月から1月にかけて、久しぶりに企画した全ての行事が実施できた。クリスマス行事は青少健や地域の方に支えて頂いた。約105名が参加。オミクロン株の拡大を受けて会議の中止が出ているが、子どもは元気。こども祭は2年間中止にしている。一昨日から企画をしているところ。児童館での飲食は私の判断でオープンにしている。食についてはできないがそれ以外はやっていこうとしている。

(8) その他

石川：こども未来センターにお父さん向けのサークル「パパママ子育て応援部 Hi タッチ!!」という団体がある。メンバーで西砂から来ている方がいて、西砂学習館でも活動ができたらとのことで相談に来た。学習館というより、地運協で何かあればお役に立つのではと話した。具体的な話は来年度としている。気になったことは、仲良しお父さんの会のような感じもする。ただ、子どもの居場所づくりは地運協の柱である。何かコ

ラボできるものがあればしたいと思っているところ。

大槁：子育て広場とのつながりはないのか。

小笠原：サークルの1つと感じる。子ども育成課、子育て推進課に情報を入れておくのは良いと思う。

石川：行政利用では部屋を先まで予約ができる。一サークルだとそれができない。

4 その他

○ 次回の地域学習館運営協議会の日程について

※ 次回開催；次回は、2月18日（金）18：00

◇ 日中午後の時間帯での会議室・第1教室の空はありませんでした。

<配布資料>

- ・〈資料1〉令和3年度 西砂学習館事業予定
- ・〈資料2〉西砂学習館運営協議会 令和3年度地域活性化講座（案）
- ・第42回西砂学習館まつりスケジュール（案）
- ・西一元氣通信第4号